



SYS
Systemfiltration

VITO® 50



VITO® 80



VITO®

取扱説明書

はじめに

お客様各位

このたびは弊社 VITO®30/50/80 製品のご購入誠に有難うございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属冊子『安心してお使いいただくために』に記載されております。
必ずお読みになり、正しくお使い下さい。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管して下さい。

商標権について

本製品、また本製品マニュアルについては商標権法により、その商標者および商標者の権利が保護されています。改変、複製物の譲渡などする場合には、商標権法を遵守の上、適切な使用を心がけてください。本製品に関しては下記に商標権が帰属されております。
また VITO®は商標ならびに登録商標です。

SYS Systemfiltration
Eltastraße 6
78532 Tuttlingen
Deutschland

www.systemfiltration.com

記号の意味

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されません。



危険

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高い事を示します。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されることを示します。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されることを示します。



特に取扱いの注意点を要するところにこのマークを使用します

目次

はじめに.....	1
商標権について.....	1
記号の意味.....	1
目次.....	2
1. 安全に使っていただくために.....	3
1.2. 危険を回避するためのルール.....	3
1.3. 電気事故を避けるために.....	4
1.4. 本機の安全の確保.....	4
1.5. 使用目的.....	4
1.6. 使用の頻度.....	4
2. 付属品の設置.....	4
3. 各パーツの説明.....	5
4. 使用方法.....	6
4.1. 精製濾過時間.....	6
4.2. スタート前のチェックリスト.....	6
4.3. 電源コンセントを入れる.....	6
4.4. スタート、ストップ.....	6
5. 清掃並びにメンテナンス.....	7
5.1. 清掃.....	7
5.2. フィルター交換.....	8
6. 故障かな?と思ったら.....	9
7. 各モデルの機能比較.....	10
8. 保証書.....	11

1. 安全に使っていただくために

本製品を安全に使っていただくために下記のことを注意して下さい。

1.2. 危険を回避するためのルール

- 注意！ フィルターボックスを装着せずに VITO® を使用しないで下さい！
- 注意！ VITO® が運転中に作動部分を決して触らないでください！
- 注意！ VITO® が運転中オイルから引き上げないでください！
- 警告！ VITO® が運転中たとえ本機が倒れても決して触らないでください！
- 警告！ 本機が明らかに故障、破損がある場合、決して使用しないでください！
- 警告！ 火傷の危険  使用する際には備え付けのハンドルを使ってください！
- 警告！ 本機使用前に必ず両サイドの黒のネジが閉まっている事を確認ください！
- 注意！ コンセントコードにつまづかない様に注意して下さい！
- 注意！ キッチンの床が水ぬれ、油などで滑り安い状態での使用注意！ 
- 注意！ 本機下部の四つ角が鋭くなっていますので取扱い注意！

- 危険！ 感電注意！ 

VITO® を使用する前にコンセントコードに破損がないか確認の上、またコンセント部分に破損がないかお確かめの上ご使用ください。

- 危険！ 火災にご注意！
 - キッチンの油まわり火気厳禁
 - 火災の際のマニュアル確認
 - 非常出口の確認
- VITO® を使用する際、まず最初に VITO® をフライヤーに入れ安全を確認後、コンセントを指してください。
- 説明書で解説している以外の本機の組み立てはやめてください。
- 説明書で示してるフライヤー内の油の上限下限の限界線を越えないように注意してください。
- 説明書をよく読み運転操作を十分に理解した方々の使用をお願いします。



1.3. 電気事故を避けるために

- 最初に本製品をご使用の前に本機に記載されている電圧、電流が規格に合っているかお確かめ下さい。



1.4. 本機の安全性の確保

- ご使用前に本機を洗浄して下さい。(洗浄の詳細は7ページをご覧ください)
- コンセントの電極部分がオイルや水に濡れていないことを確認して下さい。
- 本機をご使用の際、摂氏 200 度を超えていないことをご確認ください。摂氏 175 度推奨。
- 本機をご使用の際、摂氏 20 度以下でご使用しないで下さい。
- 本機を使用時以外にカラ回ししないで下さい。
- 金属製のたわしなど研磨される素材で本機を擦らないで下さい。
- 本機をご使用の際、フライヤーの底に水平になっている事をご確認の上、突起物等がない事をご確認ください。突起物、出っ張りがある場合、本機のスクリュー又はフライヤー内部を痛めることがありますのでご注意ください。

1.5. 使用目的

VITO[®] はコンパクトかつ持ち運びに便利で簡単なオイル精製濾過機です。

VITO[®] は揚げ物温度 (推奨 175 度) のまま使用が出来、直接フライヤーに付けて濾過精製を行います。

VITO[®] はパン粉等の油かすを 99% 濾過精製し、オイルの寿命を伸ばし美味しい揚げ物をご提供いたします。

1.6. 使用の頻度

VITO[®] を一番最初に使用する際 (新品から使用の際) フライヤーをまず綺麗に掃除して頂き、使用オイルも新しい物をご使用ください。一度汚れたオイルは再生するのではなく、綺麗なオイルを長持ち、寿命を延ばすのが本機のコンセプトです。

VITO[®] の使用は一日 2 回を推奨いたします。(揚げ物の量によりそれ以上してもかまいません) 例えばお昼のランチ後に一回、また夕方からの営業終了後一回でオイル濾過精製完了で次の日に備えます。フィルターは毎日交換していただいても構いませんがフィルター一杯になるまで使用可能です。

2. 付属品の設置

VITO[®] を使用後の移動は付属のオイルトレイを使用して下さい。

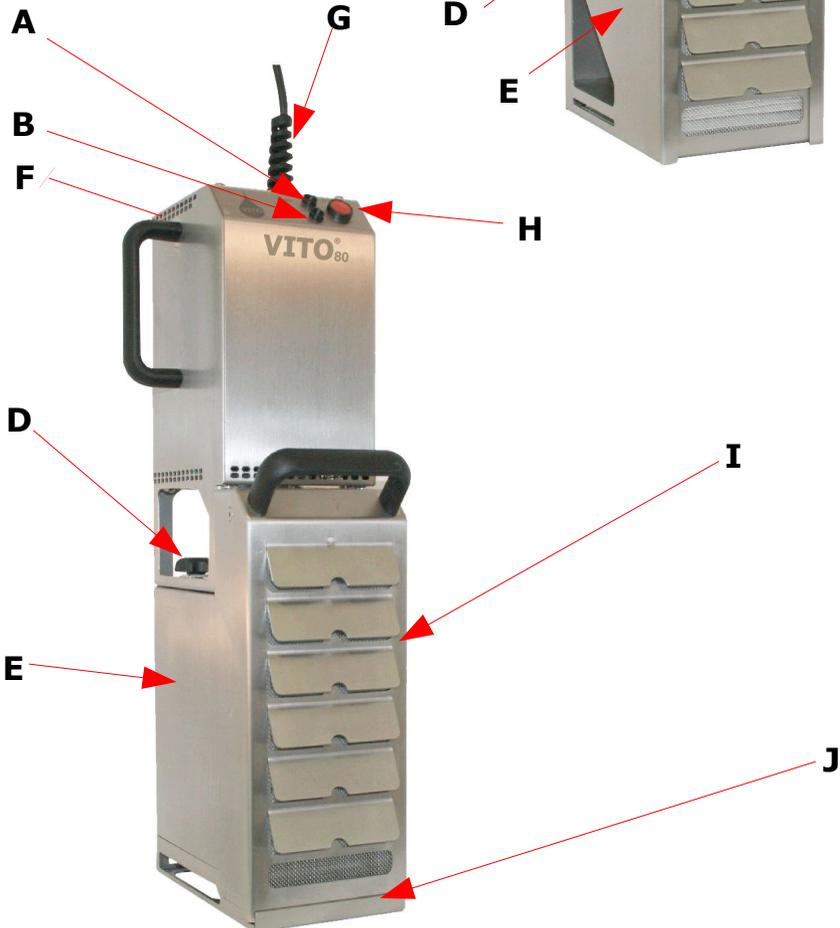
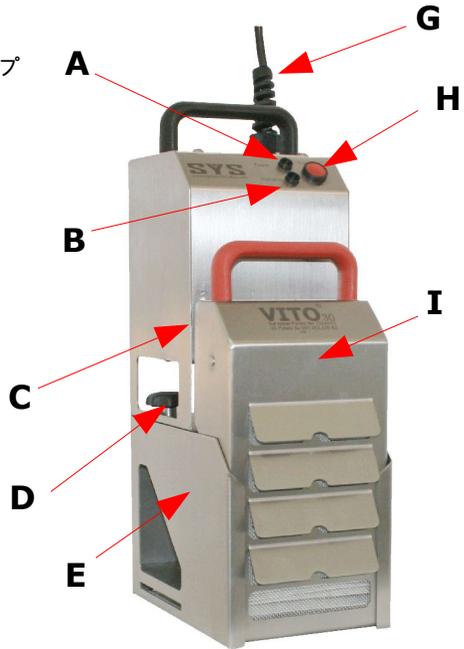
この付属のオイルトレイはご使用のキッチンの壁に装着することができます。取り外しも可能になっておりますので置く場所も気にせずコンパクトに置くことが可能です。

(vito50, 80 ではトレイの大きさが異なります。)



3. VITO®の各パーツの説明

- A 電源オン"Power"赤のランプ
- B 濾過精製稼働時"filtration"緑のランプ
- C ボックス装着センサー
(vito50のみ)
- D 本体離脱用スクリュー(両サイド)
- E ポンプ部分
- F 冷却用ファン窓口(VITO80のみ)
- G 電源プロテクションコード
- H スタート、ストップボタン
- I フィルター部分
- J フィルターストッパー部分



4. 使用方法

4.1 精製濾過時間

本機は約 4-10 分の濾過システムです。(機種によって異なる)

スタート、ストップボタンでいつでも濾過スタート、ストップが可能です。

本機は待機時間を含め合計 30 分以上稼働の場合、または本機が高熱も持った場合、安全装置の働きでスタートボタンを押しても作動しない場合があります。赤、緑のランプが点滅する場合は使用をおひかえください。

上記の様なことが起こった場合はまず備え付けのトレーに置いていただき電源を切ってください。本機大変熱くなっておりますので本機に触れないようご注意ください。トレーに置いたまま冷まします。最大で 2 時間ぐらいかかることもありますので十分に冷やしてください。無理にご使用いたしますとモーターがオーバーヒートし故障の原因となりますのでご注意ください。

VITO® はキッチンに数台フライヤーがある場合、連続して複数回使用可能ですが下記を限界といたしますのでご注意ください。

VITO® 30 最大. 3 サイクル

VITO® 50 最大. 6 サイクル

VITO® 80 最大. 12 サイクル

注意：待機時間を含め約 30 分使用後は 2 時間休めてください。

4.2 スタート前のチェックリスト

*本体離脱用のスクリュー(両サイド、上記パーツ説明"D")は必ずしっかり閉めること!

*アコーディオン状のフィルターは必ず入れること ("I")!

*フィルター部分 ("I")は必ずしっかりとスライドしてポンプ部分("E")奥まで入れてください!
(VITO50のみボックス装着センサー("C")が付いております。)

*VITO® を付属のトレーから出しフライヤーの中においてください。

*真直ぐになっている事を確認ください

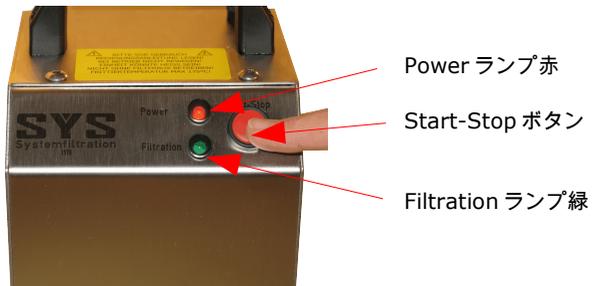


❗ オイルの高さが max と min の間に
入っている事を確認ください。

4.3. 電源コンセント入れる

電源コンセントを入れると"power"の赤のライトが付きます。

4.4. スタート、ストップ





注意!

*濾過稼働中は絶対に VITO[®] をオイルから出さないで下さい。

*VITO[®] が真直ぐになっているかお確かめ下さい。

*オイルの高さが max. と min. の間になっているかお確かめ下さい。

*濾過稼働中は絶対に動かさないで下さい。



start/stop ボタンを押すことによっていつでも開始、ストップが出来ます。

- VITO[®] 50 で濾過精製が終わりましたら付属のトレーに置きコンセントを抜いてください。
- VITO[®] 80 で濾過精製が終わりましたら付属のトレーに置きコンセントを入れたままで 10 分間お待ちください。(内部のファンでモーターを冷やしオーバーヒートを抑制します。)

5. 清掃並びにメンテナンス

5.1 清掃



やけど注意! 濾過終了後、本機は大変熱くなっておりますので十分に付属のトレーに入れて冷ましてください。



*連休や、長期休みがある場合、フィルターを入れたままにするのではなく必ず新しいフィルターに変えて次回お使い下さい。

*新しいフィルターに交換する場合はフィルターボックスを洗浄して下さい。

1. フィルターボックスを開け使い古しのフィルターを廃棄して下さい。
2. 上部部分はモーター部分ですので汚れておりませんので乾いたタオルで拭いてください。(水ぬれ禁止)
3. フィルター部分と下部ポンプ部分は下記の写真の様に自動洗浄機で洗浄することができます。(もちろん手洗いでも可能です。)

手洗いの場合：

手洗いの場合、軽く水、お湯でフィルターボックスの中をすすぎ
油用洗剤をスポンジに付け洗ってください。

自動洗浄機の場合：

右記の様に VITO[®] 50 の場合は 3 点(フィルターボックス、ポンプ部分、トレー)、VITO[®] 80 の場合は 2 点(フィルターボックス、トレー)を安定するように置き倒れないよう注意して下さい。また洗浄機の上部のスプリンクラーに当たらないか確認して下さい。故障の原因となります。決して上部のモーター部分を水では洗わないで下さい。

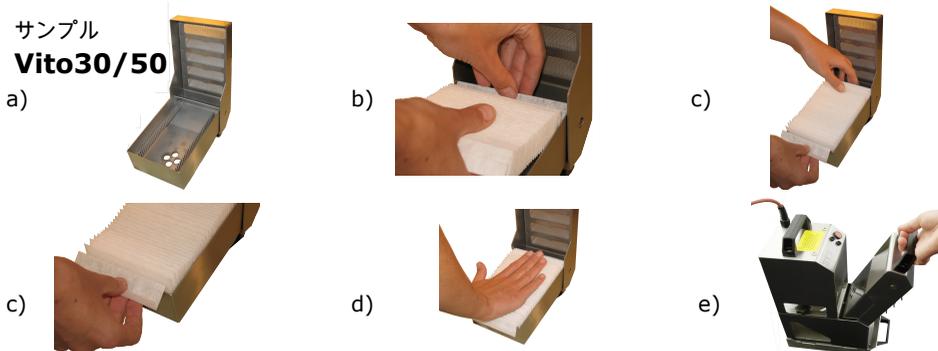


洗浄後、本機乾きましたらフィルターを入れ次の日に備えます。

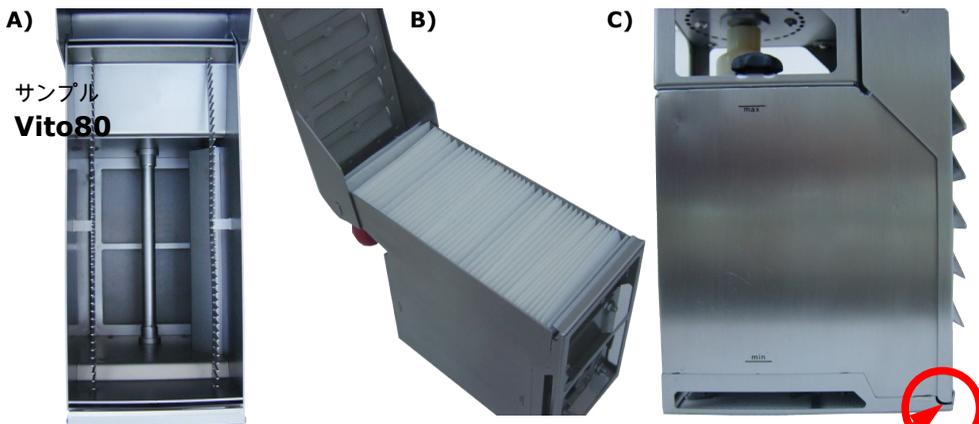
5.2 フィルター交換

VITO®のフィルター交換は毎日変えることを基本といたします。油かすの少ない場合には2日に1回程度でも可能です。

勿論、揚げ物を1日に大量に揚げる店舗はもっと頻繁に変える必要がございますが、皆さんの目安として全面のオイルの出口からオイルの量あまり出なくなった時にフィルターが一杯という判断をして下さい。



- a) 写真の様にフィルターボックスを置きます。
- b) フィルターボックスの上部はフィルターを差し込む隙間があるのでその隙間にフィルターの部分を差し込んでください。
- c) アコーディオン状のフィルターを均等になるように開いていきます。(まだ全体を押しこまないで下さい。) フィルターボックスの下部の端にフィルターの端を引っ掛けてください。
- d) 全体のフィルターの両端がボックスに入っている事を確認して手のひらでゆっくりと押しますと全体に綺麗に入ります。
- e) 綺麗に入りましたらふたを閉め写真の e) の様に本機に差し込むようにスライドして下さい。



- A) 上記の写真の様に開き、上下に隙間があることを確認して下さい。
- B) 上部の隙間に入れ均等になるようにアコーディオンを延ばし下部の隙間に収めます。
- C) フィルターが収まればふたを閉めフィルター下部にあるロック機能でフィルターボックスを完全に閉めます。(必ずカチンと閉まっている事を確認して下さい。)

6. 故障かな？と思ったら

症 状	考えられる原因	対 処
VITO [®] が作動中いつもと違う音がする。	<ul style="list-style-type: none"> - 両サイドの黒いスクリューのゆるみ - 回転部分がフライヤーの底にあっている - 回転部分の故障 	<ul style="list-style-type: none"> - 両サイドのスクリューをしっかり閉める - 底に突起物がないかまたは本機が傾いていないかを確認後、修正 - 交換します。代理店に連絡
ディスプレイのランプが光っていない、または点滅している	<ul style="list-style-type: none"> - 温度異常による安全装置作動中 - コンセントが入っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> - VITO[®] を完全に一度冷ましてください。 - コンセントを入れて下さい。
"Filtration" ランプが光っている (Vito50 モデル)	<ul style="list-style-type: none"> - フィルターボックスがきちんと挿入されていない - スイッチセンサーの故障 	<ul style="list-style-type: none"> - 最初からやり直してキッチリ奥まで入れて再度確認 - 交換します。代理店に連絡
"Filtration"の緑ランプと赤ランプが光っている	<ul style="list-style-type: none"> - VITO の置き方が真直ぐではありません。垂直から 15 度以上曲がっています。 	<ul style="list-style-type: none"> - VITO[®] を縦横から見て真直ぐになっているか確認ください。
VITO [®] がスタートしない	<ul style="list-style-type: none"> - センサー不良 - モーター不良 - フィルターボックスがキッチリ入っていない(vito50 のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> - 修理必要、代理店に連絡 - 修理必要、代理店に連絡 - 再度フィルターボックスを入れ直して下さい。(Vito50 のみ)
Vito の濾過パワーが通常よりも低い場合	<ul style="list-style-type: none"> - フィルターが一杯です - フィルターボックスが一杯です (vito80) - ポンプ部分、回転部分のつまり - モーターの故障 	<ul style="list-style-type: none"> - フィルターを変えてください - フィルターを変え、フィルターボックスの中身も洗浄して下さい。 - 綺麗に取り除き洗って下さい。 - 修理必要、代理店に連絡
フィルターボックスの両サイド又はフィルターボックスの前からオイルが噴き出しはねる	<ul style="list-style-type: none"> - フィルターボックス内のフィルターが詰まっている。(vito80) - アイコーディオン状のフィルターが入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> - フィルターの交換、フィルターボックスの洗浄をして下さい。 - 上部、下部共にしっかりとフィルターを差し込む。

上記の解決方法で依然機械に異常がある場合、決して自分の考えで修理を行わないこと。
代理店に相談して下さい。

7. 各モデルの機能比較

VITO® 30



VITO® 50



VITO® 80



濾過精製パワー	毎分 30 リッター	毎分 50 リッター	毎分 95 リッター
消費電力	0,035 kW (per cycle) 0,210 kW/h	0,021 kW (per cycle) 0,252 kW/h	0,032 kW (per cycle) 0,550 kW/h
最大出力	500 W	500 W	700 W
ワークサイクル	1回につき約9分 最大連続3回使用可能 (オーバーヒートサーモスタット作動時、停止)	1回につき約4分 最大連続6回使用可能 (オーバーヒートサーモスタット作動時、停止)	1回につき約3分 最大連続12回使用可能 (オーバーヒートサーモスタット作動時、停止)
濾過品質	5 µm まで	5 µm まで	5 µm まで
吸引深	約 15 cm	約 30 cm	約 45 cm
容積(寸法)	横 x 高さ x 縦: 120mm x 380mm x 190mm		120mm x 530mm x 200mm
最大耐久温度	上部モーター部 75°C フィルター、下部 200°C (最大油温度 175°C)		
本体素材	ステンレススチール 1.4301 アコーディオン状フィルター FDA-CFR 21 - すべての素材は食品規格適合 -		
本体重量	6.8 kg	7.3 kg	8.0 kg
フィルター除去量	0.5 リットル	0.7 リットル	3.5 リットル

8. 保証書

この度は、弊社商品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
弊社商品を今後とも末永くご使用いただくために下記の事をお守りください。

- * 使用前に説明書を必ずお読みください。
- * お客様自身で中身を開けたり、修理をしたりは絶対しないで下さい。

お買い上げ日より
1年間
保障



無料修理規定

本書は、お買い上げ日から上記の期間中故障が発生した場合に、下記の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参ご提示いただきお申し付け下さい。
 - ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、㈱スエヒロ食品 vito 本部にご連絡ください。
- ご移転の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店または㈱スエヒロ食品 vito 本部にご相談下さい。
- 保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - イ) ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ) お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷
 - ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガス)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - ニ) 車両、船舶等に記載された場合に生ずる故障及び損傷
 - ホ) 本書の提示がない場合
 - ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられている場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、盗難、火災などの付加抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管下さい。

品番	VITO 30 / 50 / 80 / その他(商品名)
買い上げ日	20 年 月 日より
お客様	お名前
	ご住所
	電話番号
販売店	販売店名
	ご住所
	電話番号

問合せ先 (輸入総代理店) : 株式会社スエヒロ食品 vito® 本部

本社 〒 552-0001 大阪市港区波除 2-5-12 トウエル倉本II 4F

Tel : 06-6582-2919

Fax: 06-6582-2647

E-Mail: kogi@suehiro-foods.co.jp